

第1回



《 次 第 》

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 班員紹介
- 4 報告
 - (1) 平成28年度 議会の活動状況
 - (2) 予算、決算等の審議概要
- 5 報告についての質疑応答
- 6 意見聴取
- 7 閉会



【能代市議会】

【議会報告会日程】

日	時	会 場	担当班
8月21日(月)	午後7時00分	檜山地域センター	1 班
		扇淵地域センター	2 班
		二ツ井町庁舎大会議室	3 班

【議会報告会班構成】

班	班 長	班 員 (議席番号順)		
1 班	伊 藤 洋 文	小 野 立	佐 藤 智 一	落 合 範 良
		針 金 勝 彦	安 岡 明 雄	後 藤 健
2 班	畠 山 一 男	菊 地 時 子	藤 田 克 美	安 井 和 則
		原 田 悦 子	渡 辺 優 子	藤 原 良 範
3 班	渡 辺 芳 勝	小 林 秀 彦	落 合 康 友	菅 原 隆 文
		渡 邊 正 人	中 田 満	庄 司 紘 八

4 報告

(1) 平成28年度 議会の活動状況

① 本会議

月 日	事 項
6月 7日	6月定例会を開会した(22日まで)
9月 6日	9月定例会を開会した(23日まで)
12月 6日	12月定例会を開会した(21日まで)
2月28日	3月定例会を開会した(3月23日まで)

議会開会回数 定例会 4回 臨時会 0回

会期合計日数 74日(うち開議日数21日)

本会議平均出席議員数 22人(条例定数22人)

② 議案の議決件数

(単位:件)

区 分	市 長 提 出							議 員 提 出		計
	可決	修正 可決	同意	認定	承認	否決	継続 審査	可決	否決	
条 例	23							2	1	26
予 算	40									40
決 算				3			1			4
専 決					9					9
意見書								1		1
その他	22		5							27
計	85		5	3	9		1	3	1	107

③ 請願・陳情処理件数(単位:件)

区 分	請 願	陳 情
採 択		1
不 採 択		10
取り下げ	1	
一部採択等		
継続審査		
審議未了		
計	1	11

④ 常任委員会・特別委員会等開催数

区 分	回数(回)	備 考
委員会開催数	52	
常任委員会	18	総務企画 6、文教民生 6、産業建設 6
議会運営委員会	28	
特別委員会	6	決算 2、庁舎整備 4
その他会議の開催数	42	会派代表者会議 8、正副議長・委員長会議 1、常任委員会協議会 5、議会運営委員会協議会 3、議会だより編集委員会 10、議会中継懇談会 5、議会報告会に関する検討会 6、議会改革に関する検討会 4

⑤ 行政視察

委員会	視察日	視察市	視 察 項 目
総務企画 委員会	10月3日 ～ 10月5日	埼玉県和光市	健全な財政運営に関する条例 行財政改革推進計画 広報の取り組み
		東京都荒川区	職場の4&6で職場のモチベーションを高める取り組み 新しい時代に対応した人事戦略構想 防災力向上対策等
		埼玉県戸田市	政策研究所の取り組み
文教民生 委員会	10月5日 ～ 10月7日	東京都国立市	教育委員会基本方針の制定 地域福祉計画の策定
		群馬県高崎市	学力向上、豊かな人間性の育成、心身の健康と体力向上に係る取り組み 高齢者あんしん見守りシステム
産業建設 委員会	10月24日 ～ 10月26日	滋賀県草津市	景観向上の取り組み 中心市街地活性化の取り組み
		京都府南丹市	南丹ブランドの取り組み バイオマスの取り組み
		京都府京都市	京エコロジーセンター
議会運営 委員会	11月14日 ～ 11月15日	東京都小平市	本会議の運営等 議会報告会 議会基本条例

(2) 予算、決算の審議概要

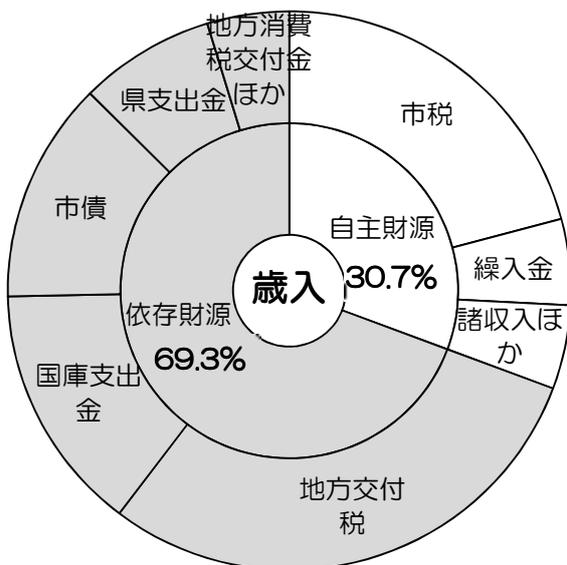
① 平成29年度能代市一般会計当初予算について

一般会計とは、福祉、教育、産業振興、道路整備などまちづくりに必要なお金を経理する会計で、平成29年度当初予算は283億5500万円となっています。

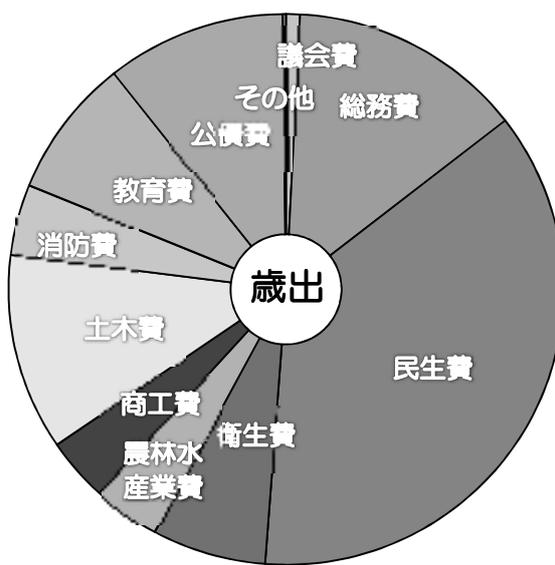
毎年3月定例会において、市長から次年度の予算案が提案されて、議会の中で各分野に分かれた委員会において詳細な審査をしています。その各委員会での主な質疑をお知らせします。

なお、平成29年度一般会計当初予算は全会一致で可決しました。

一般会計歳入予算



一般会計歳出予算



市税	(20.9%) 約59億円	議会費	約2億円	市議会の運営に
繰入金	(5.0%) 約14億円	総務費	約39億円	まちの行事や防災、市役所の管理などに
諸収入ほか	(4.8%) 約14億円	民生費	約104億円	高齢者や障がい者、子供達などのために
地方交付税	(29.6%) 84億円	衛生費	約19億円	ごみ収集、健康診査や予防接種などに
国庫支出金	(14.4%) 約41億円	農林水産業費	約11億円	農業や林業の振興などのために
市債	(12.8%) 約36億円	商工費	約11億円	中小企業や工業や観光などの振興のために
県支出金	(7.8%) 約22億円	土木費	約33億円	道路や下水道の整備などに
地方消費税交付金ほか	(4.7%) 約13億円	消防費	約12億円	消防活動や救急業務などに
		教育費	約23億円	学校や文化・体育施設などの教育関係に
		公債費	約30億円	市の借入金返済に
		その他		災害など緊急時の予備などに

【総務企画委員会】

総務部や企画部などの事務、予算については歳入全部と議会費、総務費、消防費、公債費を主に審査しています。

質 市債について、有利な市債の活用ができる間は、積極的に活用していく考えなのか。

答 市債の活用にあたっては、毎年度、実質公債費比率のシミュレーションを行っている。実質公債費比率は18%未満が適正の範囲とされているが、本市の実質公債費比率は29年度が7.2%で、ピーク時の36年度でも12.6%と見込まれることから、今後とも、適正な範囲で有利な市債を活用していきたい。

質 シティーセールス推進において新たな取り組みはあるのか。

答 新たな取り組みとして29年度に次代のシティーセールスマンとなる子供たちに能代の魅力を認識していただくことを目的にこども広報を発行し、市内外に情報を発信していくこととしている。

質 移住定住環境整備事業の移住定住環境整備支援業務委託料及び空き家改修事業費補助金の概要については。

答 移住定住環境整備支援業務委託料については、移住体験ツアーのコーディネートを委託するほか、移住交流サロンの運営を委託するもので、28年度に引き続き事業を実施するものである。移住促進空き家改修事業費補助金は、市内の空き家を購入し移住する方に対し、補助率2分の1、100万円を上限に補助を行うものである。

【文教民生委員会】

市民福祉部や教育部などの事務、予算については民生費、教育費を主に審査しています。

質 放課後児童会費について、29 年度に整備する放課後児童クラブと、向能代小学校において利用している教室は、また、新規に整備を行ったあとでも児童クラブで利用は可能か。

答 29 年度は第五小学校、向能代小学校、二ツ井小学校の3カ所で施設整備を行い、定員をふやす予定である。今後は国に補助金の申請等を行い、交付決定があり次第入札を行い、年度内に完成する予定である。また、整備後でも今までの教室を利用することは可能である。

質 落合テニスコート整備事業費の概要は。

答 29 年度に実施設計を予定しており、全天候型のコートと照明設備の整備等を検討しているが、10 面すべてを改修するには大きな金額になるため、今後、競技団体等と協議しながら決定していきたいと考えている。

質 能代市総合体育館整備事業費のトイレの改修と休館期間は。

答 6カ所すべてのトイレを洋式に改修することを予定している。また、ブラインド、排煙オペレーター、照明機器の改修を予定している箇所については一定の使用できない期間があるが、工期を計画的に設定して、使用に大きな影響が出ないように進めたいと考えている。

【産業建設委員会】

環境産業部や都市整備部などの事務、予算については衛生費、農林水産業費、商工費、土木費を主に審査しています。

質 全国ねぎサミットについては。

答 産業フェアとの同時開催で 10 月 7 日、8 日に市役所の駐車場とさくら庭をメイン会場に行うほか、産地間連携会議は旧料亭金勇を考えている。全国から 30 産地ほどの参加を見込んでおり、2 日間で 3 万人程度の集客を目標にしている。4 月に実行委員会を組織し、中身を詰めていきたい。

質 天空の不夜城推進事業費の概要は。

答 愛季の組立解体業務等委託料は、従前の組立解体費用のほか、昨年 1 月のふるさと祭り、8 月の天空の不夜城の運行、11 月にゆずのコンサート等で年間 4 回ほどの組み立て、解体を行ったことから、骨組みと台車の補強等を追加したものである。倉庫借上料は、愛季の保管場所として民間倉庫を借りており、4 月から 8 月までの借上料で、倉庫の改修工事費は、市民体育館の電気設備、消防施設のほか、使用を中止していたトイレ等を使えるようにする費用と、搬入するための軽量シャッターの取り付け費用である。嘉六の組立解体等補助金は昨年同様で、観光対応設備費補助金は昨年同額で、大型ビジョン、棧敷席の設置等である。

質 除雪機械についてどのようなものを購入する予定としているのか、また借上げの台数に不足は。

答 平成 13 年 10 月に県から 55 万 6 千円で譲渡されたグレーダー 4m 級の除雪機械で、初年度登録から 26 年経過していることから、新たに同じタイプのものに更新したいと考えている。また、借上げの台数について、今冬は、直営と業者委託あわせて能代地域は 90 台、二ツ井地域は 32 台で除雪を行っており、例年とほぼ同じ台数で不足していないと考えている。

【庁舎整備特別委員会】

庁舎整備に関する事務や予算を審査しています。

質 第1庁舎の改修工事の概要は。

答 庁舎のレイアウトの変更に伴う間仕切りの撤去及び新設、内外装の塗装、断熱改修、暖房設備の撤去、空調設備の設置、給排水配管等の更新、床の補修、放送設備の設置などの工事を予定している。

質 第4庁舎及び旧湊城第二小学校管理・教室棟の解体時期は。

答 第4庁舎は第1庁舎改修工事が完了し、引越し後の10月上旬から12月までの3カ月間、管理・教室棟は10月上旬から来年1月までの4カ月間で解体する予定としている。

質 新庁舎完成後に改善が必要と考えられる事項について、今回当初予算に計上されたものもあると思うが、そのほかに改善が必要と考えられる事項については、今後どのように対応するのか。

答 新庁舎完成以降、市民や議員、職員から不都合な点についていくつか指摘があったが、至急対応しなければならない事項については28年度予算で対応し、29年度で対応可能と判断した事項については今回計上している。今後、新庁舎において、あるいは改修後の第1庁舎において改善が必要とされる事項が生じた場合は、その都度検討しながら必要に応じて議会と相談していきたい。

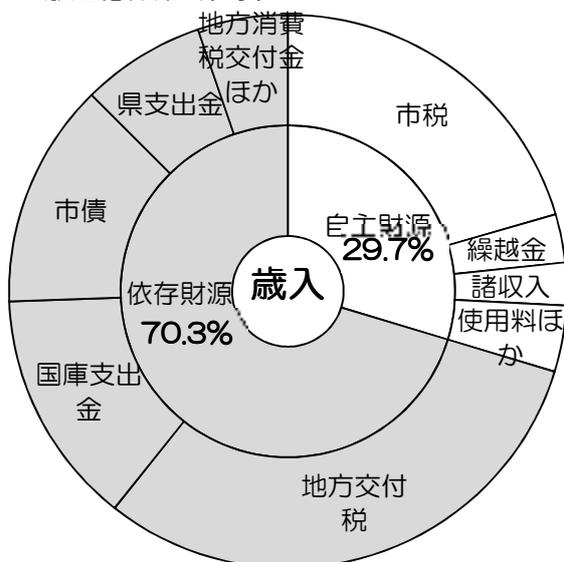
② 平成27年度能代市一般会計決算及び特別会計決算について

市における決算とは、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績を表した資料になります。平成27年度一般会計決算は、歳入総額が289億9234万9471円、歳出総額が279億1600万1549円で、実質収支は8億7664万9495円でした。

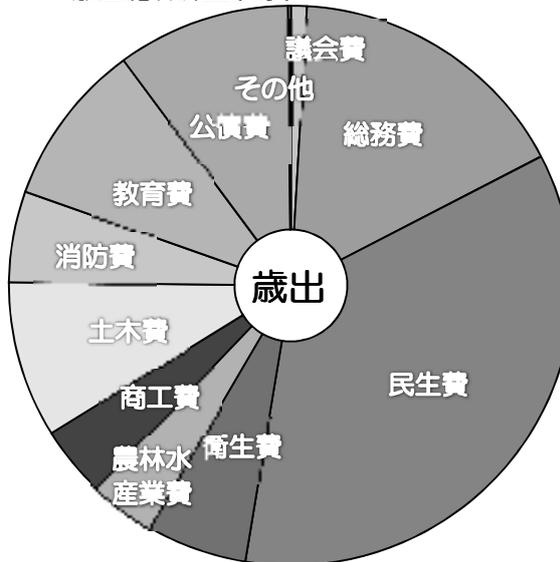
毎年9月定例会において市長から前年度の決算書等が提出され、予算が適正に執行されたか、収入が適正に確保されたかなどを議会閉会后に決算特別委員会で詳細に審査しています。

なお、平成27年度決算については、昨年(平成26年)の12月定例会で賛成多数で認定しています。

一般会計歳入決算



一般会計歳出決算



市税	(20.5%) 約59億円	議会費	約3億円 市議会の運営に
繰越金	(2.8%) 約8億円	総務費	約46億円 まちの行事や防災、市役所の管理などに
雑収入	(2.5%) 約7億円	民生費	約98億円 高齢者や障がい者、子供達などのために
使用料ほか	(3.9%) 約11億円	衛生費	約16億円 ごみ収集、健康診査や予防接種などに
地方交付税	(31.0%) 約90億円	農林水産業費	約10億円 農業や林業の振興などのために
国庫支出金	(13.7%) 約40億円	商工費	約11億円 中小企業や工業や観光などの振興のために
市債	(13.2%) 約38億円	土木費	約25億円 道路や下水道の整備などに
県支出金	(7.2%) 約21億円	消防費	約15億円 消防活動や救急業務などに
地方消費税交付金ほか	(5.2%) 約15億円	教育費	約26億円 学校や文化・体育施設などの教育関係に
		公債費	約28億円 市の借入金返済に
		その他	災害など緊急時の経費などに

【決算特別委員会】

一般会計のほか国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など11あるすべての特別会計の決算を審査します。

質 今後の財政見通しは。

答 平成27年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」において、国では30年度までに、地方交付税等の一般財源総額を27年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとしているが、その一方で、国・地方を合わせた基礎的財政収支について、32年度までに黒字化を目指すとしており、非常に影響の大きい地方交付税の動向を見ながらの財政運営になる。その中で、今後想定されるのは、33年度において、合併算定替が全く無くなるほか、32年度に行なわれる国勢調査の人口が交付税に反映される一方で、能代火力3号機の固定資産税が入り始めることから、35年度までは支障なく財政運営できると考えているが、その後は能代火力3号機の減価償却が始まり税収が段階的に減少し、さらに人口減少も進んでいくため、財政状況が厳しくなるという見通しを持っている。

質 ふるさと納税寄附金の収入状況を踏まえた今後の対応は。

答 ふるさと納税寄附金の収入総額は約3620万円で前年度の約9倍となっており、寄附された方については、本市にゆかりがある方または訪問したことがある方が約30%、それ以外の方が約60%となっており、返礼品に着目して寄附していただいている方が多いと考えている。返礼品については、導入当初の27年6月時点では17業者34品目であったが、徐々に増やして28年9月末現在では42業者127品目となっているほか、市内への宿泊クーポン券には市内店舗を利用した場合の特典を付けるなど新たな取り組みも行なっている。今後は、寄附していただく方の市に対する思いを反映できるような基金の設置について検討していきたいと考えている。